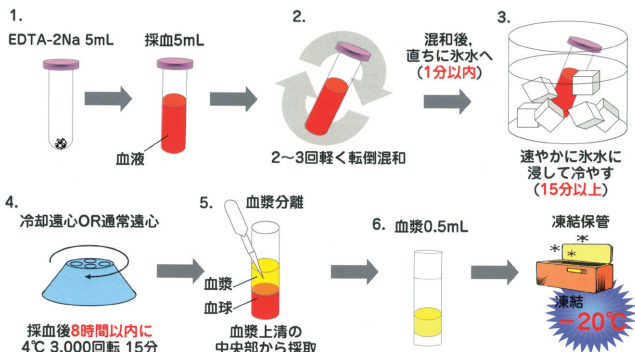


《AICSの検体の取り扱い》



- EDTA-2Na入採血管08にて血液約5mLを採取して下さい
- 採血直後、血液を2～3回軽く転倒混和して下さい(ローラーでの混和は行わないで下さい)
- 混和後直ちに(1分以内)採血管を氷水中(血液の液面まで氷水につかる状態)で冷却(15分以上、遠心操作まで)して下さい
- 採血から8時間以内に冷却条件で遠心分離(4℃、3000回転、15分)または通常遠心分離(3000回転、15分、ローターが昇温していないこと)して下さい
- 延伸後、直ちに上清の血漿を血液との境界に触れないように血漿上清の中央部から採取し、分注して下さい
- 分注後、血漿を4時間以内に凍結保存して下さい

《各AICSの解析対象となるがん種》

男性AICS(5種)	胃がん・肺がん・大腸がん・膵臓がん・前立腺がん
女性AICS(6種)	胃がん・肺がん・大腸がん・膵臓がん・乳がん・子宮がん・卵巣がん*

*子宮がん・卵巣がんは、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんを対象としています。いずれかのがんであるリスクについて評価することができますが、それぞれのがんのリスクについて区別することはできません。

《AICSの受託における注意点》

- AICSは下記年齢の日本人(妊娠されている方を除く)を対象として開発された検査です。これらの方以外のAICS値は評価対象外となります。

対象となるがん	対象年齢
胃がん・肺がん・大腸がん・膵臓がん・乳がん	25歳～90歳
前立腺がん	40歳～90歳
子宮がん・卵巣がん	20歳～80歳

- 検査前8時間以内に水以外(食事・サプリメント等)は摂らないで、午前中に採血して下さい。検査時に妊娠されている方、授乳中の方、がん患者(治療中を含む)の方・先天性代謝異常の方・透析患者の方はAICS値に影響がありますので検査は受けられません。
- 血漿(EDTA-2Na)以外の材料は受託できません。